

現況分析における顕著な変化に
ついての説明書

研 究

平成22年6月

兵庫教育大学

目 次

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 学校教育学部・学校教育研究科 | 1 |
| 2. 連合学校教育学研究科 | 2 |

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育研究)

法人名 兵庫教育大学

学部・研究科等名 学校教育学部・学校教育研究科

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目 研究成果の状況

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名 研究成果の状況

平成20年度及び21年度の実績において、卓越した水準にある研究業績(SS)は7件とした。本学の目的に照らして、学校教育及び教育実践への貢献を一層推進することができた。

本学教員をファーストオーサーとする番号1の原著論文は、研究所長賞を受賞しただけでなく、世界的な重要論文として日本の主要全国紙にも記事が掲載されるなど、公的に高く評価された。番号2の創作は日彫展優秀賞を受賞し、また、同教員は優れた活動の継続が評価されて日展会友に選出された。このような先端的な専門研究や創作活動は、学校教育における教科内容の教育研究を先導し活性化するものである。

英語教育に関する番号3の著書は国際学会での招待講演を含み、また、番号4の著書は世界規模のもので、英語教育に与えた影響が極めて大きいと評価される。番号5の原著論文は、社会的に関心の高い、特別支援教育における喫緊の課題に対する予防的支援を指し示した点でオリジナリティが高く、学会の実践研究賞を受賞した。環境保健に関連する番号6の原著論文は、タンパク質の生体防御機構について遺伝子レベルで明らかにしたものであり、化学物質の毒性などの問題に対する産学官の協同を旨とした学会の田邊賞を受賞した。番号7の単著は、一部クレマーに潜在するといわれる解離性障害とその治療技法を総括し、有力な雑誌の書評によって高く評価されている。いずれも今日の学校現場を取り巻く諸課題の解決に資するものである。

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 兵庫教育大学

学部・研究科等名 連合学校教育学研究科

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目 研究成果の状況

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名 研究成果の状況

大学院連合学校教育学研究科では、平成 20、21 年度の顕著な変化を示す卓越した水準にある研究業績 (SS) は 13 件とした。

研究科の国際的通用性という観点から国際的な評価を受けているものは 6 件、その内訳として各専門分野における世界的に著名なジャーナルに取り上げられたものが 4 件、他の 2 件はそれに準じると判断される。とりわけ番号 3 の物理学関連の論文は世界的に権威あるジャーナルに掲載されたのみならず、国内的にも賞賛され、受賞も含めて多方面での評価を受けている。

研究科で掲げている教育実践学の構築に特に寄与するものとしては、科学教育 (番号 1)、教育工学 (番号 2)、臨床心理学 (番号 7)、教科教育学 (番号 9)、精神神経科学 (番号 13) と広範な領域に渡り、研究科の特性を活かした多面的な研究活動が結実している。とりわけ、番号 2 の特許取得技術を不登校生徒への教育方略へ活用した研究は、地域の教育現場との接続性を強化し、番号 9 の教科内容学研究は、日本教育大学協会の教科内容学プロジェクト策定の契機となるなど全国的なレベルで評価され、教育実践学構築の有用性を示すものとなっている。また番号 4 の彫刻作品は、芸術表現の我が国を代表する芸術団体において受賞したものであり、芸術文化領域の水準の高さを例証するものである。